

町では、第6次置戸町総合計画の策定にあたり町民の皆さんが日頃感じられていることをお伺いし、計画策定の資料とすることを目的に町内在住の18歳以上の方に調査を行いました。

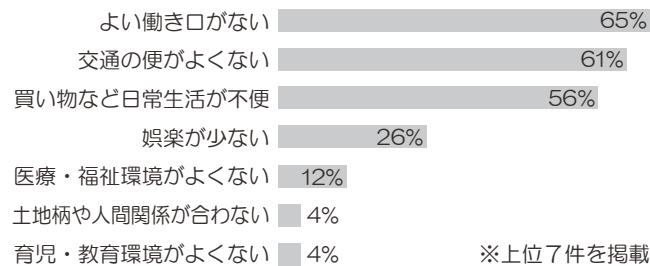
今回は、調査の回答結果を抜粋してお知らせします。

## おけとは働き口がなく、交通が不便

置戸町の課題はどんなところだと思うかとの問いに、選択肢の中で「よい働き口がない」、「交通の便がよくない」、「買い物など日常生活が不便」の3つが課題として過半数を占めています。この問いについては、地域や年代を問わずほぼ同じ回答割合となっており、これらの課題が多くの町民に認識されています。

その他の意見としては、住宅環境に関することや高齢化に伴う問題などの意見がありました。

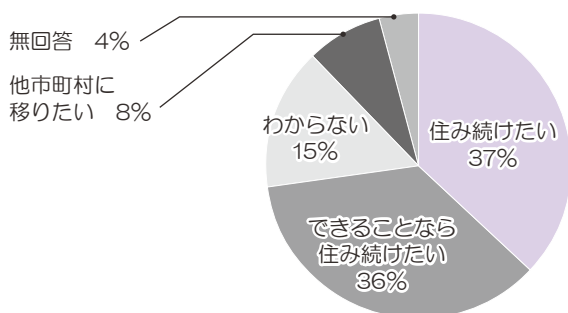
### 〈町の課題はどんなところだと思うか〉(3つまで選択)



## おけとに住み続けたい人が7割以上

これからも置戸町に住み続けたいと思うかとの問いに、「住み続けたい」、「できることなら住み続けたい」と回答した方が、71%と多くの割合を占めています。10年前の前の調査時より2%減少していますが、ほぼ同じ割合となっています。また、「他市町村に移りたい」と回答した方は8%で、前回調査時とほぼ同じ割合となっています。

### 〈置戸町に住み続けたいと思うか〉

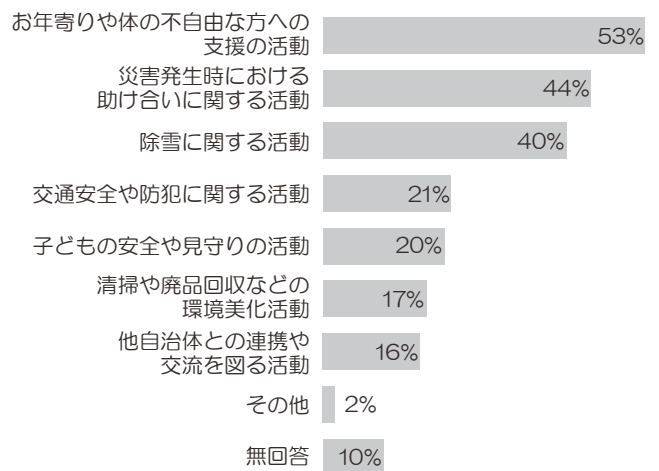


## 災害発生時や除雪に地域の力を期待

今後どのような自治会活動に期待するのかなどの問いに、「お年寄りや体の不自由な方への支援」、「災害発生時の助け合い」、「除雪」の3つの活動が選択されています。前回の調査においても、お年寄りへの支援や除雪に関する期待が高い結果となっています。災害に関する選択肢は、今回の調査より追加したのですが、近年の防災意識の高まりもあり、多くの方が自治会に期待するものとなっています。

その他の意見としては、自治会内の行事への積極的な参加などを期待する意見がある一方、特に期待していないとの声もありました。

### 〈今後のどのような自治体活動に期待するか〉(3つまで選択)



## 保健や医療、高齢者福祉、子育ての充実を

置戸町における保健・福祉・医療に関する取り組みで今後どのようなことに力をいれるべきかとの問いに、「高齢者福祉の充実」が37%、「保健・医療体制の充実」が31%、「子育て支援の充実」が16%、「障がい者福祉の充実」が5%となっています。

年代別に見ると、子育て世代の40歳代以下は「子育て支援の充実」が40%以上、50歳代以上は「高齢者福祉の充実」が40%以上と高い割合となっています。また、「保健・医療体制の充実」は、どの年代を見ても30%以上を占めており、共通した関心の高さがあるといえます。

その他の意見としては、今のままでも良くやっているとの意見がある一方、置戸赤十字病院の維持や医師の充実を求める意見もありました。

高齢になっても障害があっても暮らしやすいまちづくりのために今後どのようなことに力をいれるべきかと思うかとの問いには、全ての分野で「通院・通所等の交通手段や支援体制の整備」を選択する方の割合が過半数を占めています。